

## テーマ3 公共施設の多様な利用

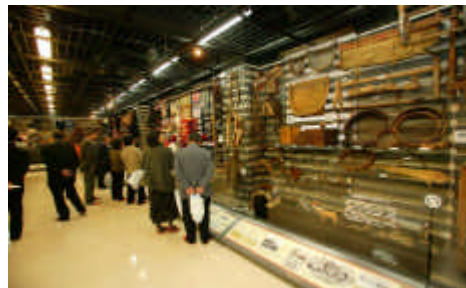
### 北海道開発がわかる資料館の活用 (川のふるさと交流館・さらら)

【背景】 地域交流の場となる新たな水辺空間 (永山新川) の創出。

【ねらい】 地域の方々と協働した「川と地域の歴史・文化」の次世代への伝承と環境教育の場としての活用。



河川広報ゾーン



ふるさと伝承ゾーン

#### これまでの取り組みと成果

平成16年4月17日(土)に一般開放された永山新川管理センター「さらら」は、永山新川の管理や水防活動の拠点として整備しました。

川のことや永山地区の郷土史がわかる展示室等を備え、洪水のない平常時には交流や学習の場として誰もが使用可能です。

NPO法人「水と緑のふるさと永山を育てる会」により、永山地区の歴史や永山新川の役割等を解説しています。

#### 展開イメージ

北海道開発局と市民団体等が協働して実施します。

##### 取り組み概要

自然観察会などの環境学習、河川愛護活動・広報活動等の取り組みを市民団体等と連携して進めるとともに、今後、「川のおもしろ館」(旭川市)等の石狩川沿川の広報施設と連携した情報発信等を検討します。

平成16年度は開館初年度として、河川清掃や体験学習会を地域と連携して開催しており、今後、ハクチヨウの舞う頃の水辺観察会など具体の行事を検討していきます。